

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『小型肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除、開腹肝切除と経皮的ラジオ焼灼療法の治療成績の比較：SURF trial 付随研究』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 消化器内科 助教 荻野 悠

### 【研究の目的】

腹腔鏡下肝切除は開腹肝切除と比較してダメージが低いと考えられます。また経皮的ラジオ波焼灼療法(Radiofrequency ablation: RFA) (以下 RFA)と比較すると再発が有意に少ないといわれています。しかし背景因子をそろえた腹腔鏡下肝切除、開腹肝切除と RFA を比較した報告はなく十分な根拠が存在しないのが現状です。

今回の研究の目的は、全国規模の多施設共同研究(SURF-trial)へ登録された患者さんの情報を用いて、腹腔鏡下肝切除、開腹肝切除、および RFA を合わせた3群におけるダメージの低い(術後在院日数、合併症)、および長期成績について検討することです。

SURF-trial というのは、肝細胞癌の初回治療として肝切除もしくは RFA のどちらが優れているかを調べる無作為比較試験(RCT)もしくはコホート研究のことです。

SURF-trial に登録された約1100名の患者のうち、東邦大学医療センター大森病院消化器内科・消化器外科で登録されている方が調査対象となります。

この研究で得られる成果は、肝細胞癌に対する最適は治療方法について知見を得ることができ、今後の肝細胞癌治療戦略を向上させることが可能であると考えています。

### 【研究対象および方法】

この研究は、[東邦大学医療センター大森病院倫理委員会](#)の承認を得て実施するものです。

対象者: SURF-trial に登録された約1100名の患者のうち2015年10月～2020年10月までに東邦大学医療センター大森病院 消化器内科・消化器外科で、肝細胞癌の初回治療として肝切除もしくはラジオ波焼灼療法を行った方

方法: SURF-trial 研究ですでに登録されている情報に加え、本研究に必要な項目を診療録(カルテ)より一部追加させていただき、定期的に調査させていただきます。

### 【研究に用いられる試料・情報】

診療情報: 病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報 等

### 【外部への試料・情報の提供】

診療情報を匿名化し、データセンターに登録します。あなたの個人情報が分からないように管理します。

### 【研究組織】

本付随研究代表施設名: 大分大学医学部 消化器・小児外科 研究代表医師: 猪俣雅史 役職: 教授

分担研究施設: 東邦大学医療センター大森病院 研究代表医師: 荻野 悠 役職: 助教

**【個人情報について】**

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

職位・氏名 助教 荻野 悠

電話 03-3762-4151 内線 6520